



地域包括ケア病床開設のお知らせ

医療相談部 ソーシャルワーカー 白井佑毅

当院では、平成30年11月から地域包括ケア病床を開設いたしました。在宅での療養に不安があり、もう少しの入院治療で社会復帰できる患者様、施設への転所がすぐに出来ない患者様のために安心して退院していただけるように支援していきます。

地域包括ケア病床とは

「地域包括ケア病床」とは、急性期治療を経過し、病状が安定した患者さんに対して、在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療や支援を行う病床です。

本来は、一般病棟で症状が安定すると、早期に退院をしていただく事になっています。

しかし、在宅での療養に不安があり、もう少しの入院治療で社会復帰できる患者さんの為に、当院では「地域包括ケア病床」（11床）を準備し、安心して退院していただけるよう支援していきます。

心身が回復するよう医師や看護師、病棟専従のリハビリスタッフ、在宅復帰支援担当者等により治療・支援を行っていきます。

受け入れ対象

- * 急性期治療が終了し病状が安定・軽快して在宅復帰、施設入所に向けた入院希望の方。
- * 在宅復帰に向け「リハビリ継続」したい方。
- * 在宅で療養中に「介護者の休養」の為に一時入院。
- * 急に熱が出たり、体調不良になった方。

入院期間

- * 入院後、病状等により最長で60日間となります。

入院費について

- * 入院費は定額で、リハビリテーション、投薬料、検査料、入院基本料、簡単な処置料等の費用が全て含まれます。



「おせち料理」について

お正月に食べるお祝い料理「おせち料理」。元々は、中国から伝わった「節」と呼ばれる季節の変わり目ごとに、収穫を感謝して神様にお供え物をしてきた「節供」が起源と言われている。おせち料理は、めでたさを重ねるといふ意味で重箱に詰められ、ひとつひとつに願いが込められています。数の子は子孫繁栄、田作りは五穀豊穡、栗きんとんは金運など、願いは様々です。改めて料理に込められた願いを考えながら食べてみるのも良いかもしれせん。また、おいしいおせち料理ですが、保存性を高めるために、塩や砂糖をたっぷり使っています。カロリーや塩分のとりすぎには注意しましょう。お正月はごちそうも多いですが、食べ過ぎや飲み過ぎには気をつけて、よい新年をお迎えください。

管理栄養士 藤井 未菜



診療案内

月曜日～金曜日 午前：9時～12時 午後：4時～6時
土曜日 午前：9時～12時 午後：休診
休診日：日曜・祝日・年末年始（12月31日～1月3日）・お盆（8月15日）

担当医 （月曜日午後及び土曜日午前中は担当医師が週により変更となります）

月曜日	午前：青山	午後：内科（交代制）	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：大村	午後：宮加谷	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：宮加谷	午後：腎臓内科 （進藤・門野）	土曜日	午後：神経内科（六車）	
				午前：内科（交代制）	

季節の風景



蒼昊紅葉盛壮